

■ 掲示板

■ 第18回（平成30年度）「一般財団法人材料科学技術振興財団 山崎貞一賞」の募集

山崎貞一賞：「一般財団法人材料科学技術振興財団山崎貞一賞（以下、山崎貞一賞）」は、科学技術水準の向上とその普及啓発に寄与することを目的とし、また、当財団の初代理事長を務めた故山崎貞一氏の科学技術および産業の発展に対する功績、人材の育成に対しての貢献を記念して創設された賞であります。

募集対象分野（平成30年度）：

1. 「材料分野」
2. 「半導体及び半導体装置分野」

内容：

- (1) 受賞者は国籍を問わず、日本国内に於いて優れた創造的業績をあげている人としします。
- (2) 誠実な人間性のある人物を授賞対象としします。
- (3) 受賞者全員に賞状および各分野に対し賞金300万円を贈呈します。
- (4) 贈呈式典は11月に執り行います。
- (5) 過去に応募し選に漏れた人でも、再応募可能です。その際、新たなる発展、新たなる資料をお持ちの場合は、それらも提示して応募書を作成し応募して下さい。
- (6) 複数人（総計3名以内）で応募される場合は、各人につき応募書類に詳細な寄与実績を記載して下さい。
- (7) 応募書類を作成するに当たっては、記入要領に従って下さい。

応募方法：必要書類一式を Web システムよりご提出下さい。

応募書類一式は、募集期間中に山崎貞一賞ホームページよりダウンロードいただけます。

山崎貞一賞ホームページ：

<http://www.mst.or.jp/Portals/0/prize/index.html>

募集期間：平成30年3月15日（木）～4月30日（月）

問合せ先：

一般財団法人 材料科学技術振興財団 山崎貞一賞事務局

TEL：03-3415-2200（直通） FAX：03-3415-5987

E-mail：prize@mst.or.jp

■ 平成30年度 後期 高エネルギー加速器研究機構 物質構造科学研究所 放射光共同利用実験課題公募

募集対象：当施設の放射光および低速陽電子を利用する実験。

主に大学等の研究者を対象としますが、科学研究費助成事業の申請資格を有する企業等の基礎研究も対象となります。

応募期限：

平成30年5月9日（水）（一般課題，特別課題）

平成30年5月18日（金）（大学院生奨励課題）

なお、予備実験・初心者型課題については、随時受付していません。

応募要領：実験課題申請システム【<https://pmsweb.kek.jp/k-pas/>】を利用した電子申請となります。

申請受付は平成30年4月11日（水）に開始いたします。

具体的な申請書作成等に関する詳細については

<https://www2.kek.jp/uskek/apply/pf.html>をご参照ください。

その他：研究成果は公表していただきます。

問合せ先：

高エネルギー加速器研究機構

研究協力部研究協力課

共同利用支援室共同利用係

E-mail: kyodo1@mail.kek.jp

TEL: 029-864-5126

■会告

■第22回日本放射光学会奨励賞選考結果報告

2017年9月5日開催の学術賞等選考委員会の選考結果として2名が推薦された。

その結果を受け、第116回評議員会にて第22回日本放射光学会奨励賞の授与が承認され、第31回総会にて賞状並びに副賞のメダルが授与された。

氏名、所属、並びに、選考理由は下記の通り。

- ・大坪嘉之（大阪大学大学院・生命機能研究科/理学研究科）
「固体表面の低次元電子状態における特異な電子相関現象」

大坪嘉之氏は、国内外の放射光施設を利用し、ARPESを中心に固体表面の低次元電子状態について表面科学と放射光を融合させた多くの実績をあげている。特に、これまで清浄表面を得ることが難しかった試料に着目し、新しい試料準備の方法論を開発することで、電子相関が引き起こす特異な電子状態を発見するという注目すべき成果をあげている。例えば、通常の劈開では清浄表面が得られない近藤絶縁体 YbB_{12} 単結晶において、研磨と超高真空中での加熱を組み合わせた清浄化手法を確立し、近藤効果により開いたバルクバンドギャップを横切るトポロジカル電子状態が現れることなどを明らかにしている。また、 InSb (001) 表面に注意深く Bi を蒸着・加熱すると Bi 原子の1次元的表面原子構造が形成すること、ARPESによるスペクトルの定量的評価から朝永・ラッティンジャー液体で記述できる一次元電子状態が実現していることなどを明らかにしている。

このような同氏の特徴のある研究は、先進的な放射光計測で初めて観測できるような物理現象の理解を深めていくためには、試料表面等の処理技術の展開が極めて重要となることを明確に示すものであり、放射光科学の総合的な発展に一石を投じるものである。

以上のように大坪嘉之氏の業績は本学会奨励賞に相応しいものと認められた。

- ・松井公佑（名古屋大学大学院・理学研究科）
「Operando イメージング XAFS 法の開発と実固体触媒材料の可視化」

松井公佑氏は、固体触媒材料中の元素の分布や酸化状態、配位構造の違いを反応条件下で可視化することのできる operando イメージング XAFS 法を開発し、触媒科学への展開において革新的業績をあげている。例えば、排ガス浄化材料であるセリア-ジルコニア複合酸化物粒子内部の Ce の価数変化を走査型顕微 XAFS 法によって明らかにし、酸素を吸蔵する Ce の酸化過程では、表面に担持した Pt とは無関係に粒子全体から反応が進行するのに対し、酸素を放出する Ce の還元過程では、担持した Pt を起点として反応が進行することを可視化している。また、3次元 CT-XAFS 法により、固体高分子形燃料電池電極膜の発電条件下での operando イメージング XAFS 測定を実現し、加速劣化試験前後での同一視野での3次元観察から、カソード触媒である Pt

が価数変化を伴いながら触媒層から電解質膜へと溶出し、劣化していく過程を明らかにしている。

このような同氏の特徴のある研究は、化学状態の2次元及び3次元可視化の観点から実用触媒材料が抱える諸問題を解決する糸口となる構造基盤情報を世界に先駆けて明らかにしたものであり、放射光科学ならびに触媒科学の進展と社会貢献に大きく寄与するものである。

以上の理由により、松井公佑氏の業績は本学会奨励賞に相応しいものと認められた。

■第1回放射光科学賞選考結果報告

2017年9月5日開催の学術賞等選考委員会の選考結果として1名が推薦された。

その結果を受け、第116回評議員会にて第1回放射光科学賞の授与が承認され、第31回総会にて賞状が授与された。

氏名、所属、並びに、選考理由は下記の通り。

- ・北村英男（NEOMAX エンジニアリング株式会社）
「放射光挿入光源開発による放射光科学への貢献」

北村英男氏は、アンジュレタ開発の世界的パイオニアである。世界初の放射光専用リング SOR-RING においてアンジュレタの開発研究を行い、その成果に基づき PF に本格的軟 X 線アンジュレタを設置した。また、PF-AR において世界初の真空封止アンジュレタの開発に成功し、SPring-8 で標準 X 線アンジュレタとして採用された。これは世界的な注目を集め、BNL の NSLS で短周期真空封止アンジュレタのテストが行われ、2~3 GeV クラスの蓄積リングでも、高調波により硬 X 線領域が利用可能であることが示された。このことが、現在の世界的な高輝度中型放射光施設建設ラッシュの礎となっている。真空封止アンジュレタは SPring-8 で広く用いられている上に、コンパクト X 線自由電子レーザー施設 SACLA を開発する上でのキーコンポーネントとなった。短周期真空封止アンジュレタがあることで線形加速器のエネルギーを下げる事が可能となり、小型化が可能となったためである。他にも北村氏は SPring-8 において、偏光スイッチングアンジュレタ、クライオアンジュレタ、長尺アンジュレタなどの開発研究を成功させており、世界の放射光施設に大きな影響を与えた。

以上のように北村英男氏は我が国の放射光科学の発展に著しい貢献をしており、本学会放射光科学賞に相応しい研究者と認められた。

■第5回日本放射光学会功労報賞選考結果報告

2017年10月7日開催の第116回評議員会にて、小杉会長より、第5回功労報賞は応募がなく、該当者なしとする旨の報告があり、これを承認した。

■日本放射光学会第117回評議員会議事録

日時：2018年1月8日（月）12：10～13：30

場所：つくば国際会議場 中会議室406

出席者：足立伸一，足立純一，雨宮健太，有馬孝尚，
 籠島 靖（編集幹事），加藤政博，河田 洋，岸本俊二，
 木下豊彦，木村 滋，木村洋昭，組頭広志（行事幹事），
 後藤俊治，近藤寛，櫻井吉晴，高田昌樹，大門 寛，
 中川敦史，野村昌治，藤森 淳，藤原明比古，
 百生 敦，矢代航，矢橋牧名（渉外幹事），横山利彦，
 渡邊信久
 稲田康宏（会計幹事），内海 渉（庶務幹事），
 小杉信博（会長）

欠席者：朝倉清高，五十嵐教之，原田慈久，松田巖

事務局：笹部昌子，佐藤亜己奈

〈審議事項〉

1. 第31回総会議事
 内海庶務幹事より，第31回総会の議事案について説明があり，これを承認した。
2. 2017年度決算・2018年度予算案
 稲田会計幹事より，2017年度決算および2018年度予算案について説明があり，これを承認した。尚，税理士から，今後は会費の未収金を収入に含めたほうが良いとの指摘があった旨説明があり，次年度から取り入れる方向で検討をすとの報告があった。
3. 会員異動
 内海庶務幹事より，第116回評議員会以降の入会申請者に関して，入会：正会員60名（内学生51名），賛助会員1社（1口）の報告があり，これを承認した。退会に関して，退会：正会員9名（内学生1名）を確認した。2018年1月8日現在での総会員数は1,324名（内学生151名），名誉会員5名，シニア会員54名，賛助会員47社（49口），特別賛助会員12団体（19口）。また，会費3年間未納のための自動退会者22名および会費2年滞納者70名のリストを確認した。
4. 協賛・後援・共催
 矢橋渉外幹事より，本学会に対する協賛・後援・共催依頼について事後承認の依頼があり，協賛9件，後援1件を承認した。

〈報告事項〉

1. JSR2018状況・JSR2019準備状況
 組頭行事幹事より，第31回年会・合同シンポ（JSR2018）が順調に開催されているとの報告があった。また，第32回年会・合同シンポ（JSR2019）は，2019年1月9日（水）～11日（金）に福岡国際会議場で開催予定であるとの報告があった。尚，JSR2019では日程や開催地の関係で市民公開講座を開催することが難しい状況であるとの説明があった。過去の提案母体の変遷を確認の上，今後，市民公開講座の開催については現地実行委員会が判断することとした。
2. 年会・合同シンポにおける発表分野の見直しについて
 組頭行事幹事より，JSR2018プログラム委員会で，発表分野の見直し（VUV，軟X線，X線に分けないようにする）について提案があった旨，説明があった。他の学会とは異なる

本学会の特徴を表した従来の分野分けにも留意が必要との意見があり，次回組織委員会までに幹事会で見直し案を検討したものを学会として組織委員会に提案し，最終的には組織委員会で決定をすることとした。

3. 会誌編集状況
 籠島編集幹事より，学会誌の編集状況について，試料環境シリーズ，依頼記事の進捗状況，30周年特集号の企画など，報告があった。
4. AOFSSR 報告
 矢橋渉外幹事より，AOFSSR の活動内容及び大きく見直された今後の活動予定について報告があった。
5. SLiT-JUC 総会への対応
 矢橋渉外幹事より，第2回 SLiT-JUC 総会において，小杉放射光学会会長に挨拶の依頼があったため，幹事会にて対応を協議した旨，報告があった。幹事会で検討をした基本方針について，1）一般論として，将来計画をもっている団体への集まりに会長が呼ばれた場合には，応じる。（放射光科学の振興にもなるため），2）今回の挨拶では，現時点で公式に決定された事項を中心に報告する。との説明があった。
6. 会費の集金方法について
 稲田会計幹事より，会費未収金の現状について報告があり，会費回収率（会員の利便性）向上のため，コンビニ振込やクレジットカード支払を導入する方向で検討を進める旨，説明があった。次回の評議員会までに詳細を決定するとの説明があった。
7. 「次世代放射光施設の推進」予算（案）について
 小杉会長より，「次世代放射光施設の推進」予算（案）について報告があった。

〈その他〉

1. JSR2020の開催地について
 第33回年会・合同シンポ（JSR2020）は2年先であるが，会場の確保等，準備の都合上，開催2年前に開催地を決めておく必要があったが，組織委員会ではまだ決めていなかった。そのため，学会から組織委員会に提案することとし，意見交換した。その結果，これまでの開催地の順番を変える理由がないことが確認されたため，順番に従って名古屋地区での開催をお願いすることとした。

評議員会日程（予定）の確認

第118回評議員会 2018年4月14日（土） 場所：未定
 第119回評議員会 2018年7月14日（土） 場所：未定

■第31回（2018年）日本放射光学会総会議事録

日時：2018年1月8日（月）14：30～15：30

場所：つくば国際会議場 M会場（大ホール）

出席者：出席者：210名 委任状：53名 計：263名

定款第28条により，正会員の1/10（133名）以上の参加で総会は成立。

（議事）

1. 議長選出
 議長に足立伸一会員を選出した。

2. 2018年度会長挨拶
小杉会長より挨拶があり、「日本全体のグランドデザインが考えられる形を作る」、「3 GeV 高輝度放射光源計画の早期実現を目指して、学会として全面的に支援・協力する」といった、2018年度の活動方針について所信表明があった。
3. 2017年度事業報告
内海庶務幹事より、2017年度の学会活動について報告があった。
4. 2018年度学会組織
内海庶務幹事より、2018年度の学会組織（会長、幹事、評議員、各委員会）について報告があった。
5. 2018年度事業計画
内海庶務幹事より、2018年度の事業計画について報告があった。
6. 2018年度行事活動方針
組頭行事幹事より、年会・合同シンポジウムの開催、若手研究会・基礎講習会の継続など、2018年度の行事活動方針について報告があった。
7. 2018年度編集活動方針
籠島編集幹事より、学会誌「放射光」の発行、試料環境シリーズの連載、単行本「増補版・放射光ビームライン光学技術入門」改訂作業など、2018年度の編集活動方針について報告があった。
8. 2018年度渉外活動方針
矢橋渉外幹事より、他学会に対する情報発信、AOFSSR との協調、IUCr の Commission on Synchrotron Radiation との協調、学会ホームページのアップデート、SRN 等への情報発信、緊急時における他学会への働きかけ声明文などの準備、発信、男女共同参画との連携、特別賛助会員、賛助会員への対応など、2018年度渉外活動方針について報告があった。
9. 第1回放射光科学賞
小杉会長より、学術賞等選考委員会において、第2回以降のことも考え慎重に選考を行った結果、下記の1名を第1回放射光科学賞の受賞者として決定した旨の報告があった。
北村英男氏（NEOMAX エンジニアリング株式会社）
「放射光挿入光源開発による放射光科学への貢献」

10. 第22回学会奨励賞
小杉会長より、学術賞等選考委員会において、今後の放射光科学での広い分野への寄与の可能性に重点を置く方針の下、選考を行った結果、下記の2名を第22回学会奨励賞の受賞者として決定した旨の報告があった。
大坪 嘉之 会員（大阪大学大学院・生命機能研究科/理学研究科）
「固体表面の低次元電子状態における特異な電子相関現象」
松井 公佑 会員（名古屋大学大学院・理学研究科）
「Operando イメージング XAFS 法の開発と実固体触媒材料の可視化」
11. 細則の変更
内海庶務幹事より常置委員会に関する細則の変更について説明があった。

(改訂前)	
細則 第4章9条	本会に、編集委員会、行事委員会、学術賞等選考委員会および渉外委員会を置く。これらの各常置委員会は、それぞれ別に定める規定に従って運営される。
(改訂後)	
細則 第4章9条	本会に、編集委員会、行事委員会、学術賞等選考委員会および渉外委員会を置くことができる。これらの常置委員会を設置する場合は、それぞれ別に定める規定に従って運営される。

12. 計報
小杉会長より、2017年に上坪宏道先生（日本放射光学会第9代会長）と松下正先生（日本放射光学会第12代会長）がご逝去された旨報告があった。哀悼の意を表し、出席者全員で黙祷を捧げた。
13. 2017年度決算報告
稲田会計幹事より、2017年度決算報告があり、これを承認した。
14. 2018年度予算案
稲田会計幹事より、2018年度予算案が示され、これを承認した。

■会員移動

第117回評議員会（2018年1月8日）で承認

《正会員入会》

峰本紳一郎 東京大学大学院理学系研究科物理学専攻
 岩満 一功 熊本大学理学部
 東 晃太郎 国立大学法人電気通信大学 燃料電池イノベーション研究センター
 倉持 昌弘 東京大学 大学院新領域創成科学研究科 佐々木裕次研究室
 Karol Vegso Japan Synchrotron Radiation Research Institute (JASRI)
 佐藤 健児 株式会社本田技術研究所四輪 R&D センター第5技術開発室第2ブロック
 八尋 惇平 ㈱東レリサーチセンター
 石井 真史 国立研究開発法人 物質・材料研究機構 統合材料開発・情報基盤部門 材料データプラットフォームセンター 材料先進データベースグループ
 篠田 晃 ポールシェラー研究所

以上9名

《学生会員入会》

平井 佑磨 兵庫県立大学工学研究科物質計測科学研究室
 明渡 悠 大阪府立大学大学院工学研究科 電子・数物系専攻
 丹野 友博 東京理科大学大学院理学研究科応用物理学専攻樋口研究室
 柴山 茜 国立大学法人群馬大学理工学府電子情報・数理教育プログラム専攻
 中島 裕喜 大阪大学理学研究科物理学専攻木村研究室
 塚田 智幸 東京大学 物性研究所 原田研究室
 大野 顕司 東京理科大学大学院, 理工学研究, 物理学専攻, 幸村研究室
 有嶋駿士郎 熊本大学大学院自然科学研究科理学専攻赤井研究室
 三宅 里佳 北九州市立大学, 国際環境工学研究科, 環境システム専攻, 櫻井研究室
 高岡 航大 立命館大学
 高梨 千晶 東京大学大学院新領域創成科学研究科
 中田 勝 東京大学理学系研究科藤森研究室
 萩原 健太 東京大学大学院理学系研究科物理学専攻藤森研究室
 松原 賢 東京大学大学院, 新領域創成科学研究科, 佐々木裕次研究室
 濱本 論 大阪大学大学院基礎工学研究科物質創成専攻物性物理工学領域関山研究室
 坪内 大樹 大阪大学基礎工学研究科関山研究室
 檜内 利幸 大阪大学大学院 基礎工学研究科 物質創成専攻物性物理工学領域 関山研究室
 吉田健太郎 東京理科大学理学部第一部中井研究室
 生天目妃日理 広島大学 大学院 理学研究科 放射光物性研究室
 服部 竜大 大阪大学基礎工学研究科関山研究室
 東野 嵩也 大阪大学 工学研究科 精密科学コース 遠藤研究室
 石井 憲希 広島大学大学院理学研究科物理学専攻放射光物性研究室

前口 景祐 名古屋大学大学院工学研究科曾田研究室
 木村 円香 北海道大学 電子科学研究所
 中尾 嘉宏 山口大学大学院, 創成科学研究科, コロイド物理化学物理研究室
 中西 美恵 広島大学大学院理学研究科物理学専攻放射光物性研究室
 山田 拓洋 東京理科大学基礎工学部小嗣研究室
 鈴木 真悟 東京理科大学大学院基礎工学研究科材料工学専攻
 谷口 卓郎 上智大学院理工学研究科原子分子分光研究室
 斉藤 男 立命館大学 物理科学科 滝沢研究室
 山村 涼介 広島大学理学研究科化学専攻構造物理化学研究室
 張 宰源 東京大学 新領域創成科学研究科
 神長 輝一 (国)量子科学技術研究開発機構 東海量子ビーム研究センター 放射場生体科学研究プロジェクト
 近谷 翔汰 名古屋大学 工学研究科 材料デザイン工学専攻高嶋・伊藤研究室
 池本 昌史 名古屋大学工学研究科材料デザイン工学専攻高嶋・伊藤研究室
 鈴木 雄太 東京理科大学 基礎工学研究科 材料工学専攻小嗣研究室
 深澤 太地 群馬大学大学院理工学府 電子情報・数理教育プログラム 伊藤正久研究室
 山口 浩之 大阪大学 大学院工学研究科 精密科学・応用物理学専攻 超精密加工領域
 西久保 開 茨城大学理工学研究科
 日和佐 悟 慶應義塾大学大学院理工学研究科表面化学研究室
 柚山 大地 立命館大学理工学部物理科学科
 疋田 祐介 立命館大学 理工学部物理科学科 滝沢研究室
 有山 剛史 東海大学 工学研究科 伊藤研究室
 堀口 大和 名古屋大学大学院工学研究科物質科学専攻曾田研究室
 八木 健 立命館大学理工学部
 中村 拓人 大阪大学大学院理学研究科物理学専攻木村研究室
 川井 拓真 関西学院大学 理工学部 物理学科 水木純一郎研究室
 池 震棟 東京大学理学系研究科物理学専攻藤森研究室
 松村 準也 山口大学大学院創成科学研究科コロイド物理・化学物理研究室
 岸本 洋侑 立命館大学理工学部物理科学科
 楠 直紘 名古屋大学大学院工学研究科高嶋・伊藤研究室

以上51名

《賛助会員入会》

ニチコン株式会社

以上1社1口

《退会会員》

正会員8名, 学生会員1名

《会員数》

会員1324名 (内学生151名) 名誉会員5名 シニア会員54名
 賛助会員47社 (49口) 特別賛助会員12団体 (19口)

日本放射光学会2017年度決算書
自 2016年10月1日 至 2017年9月30日

1. 収入の部

(単位 円)

科 目	細 目	金	額
会費収入	正会員会費収入	8,368,000	12,202,000
	学生会員会費収入	189,000	
	賛助会員会費収入	2,350,000	
	購読会員会費収入	345,000	
	特別賛助会員会費収入	950,000	
会誌収入	会誌広告収入	2,975,094	3,400,241
	会誌販売収入	190,921	
	別刷収入	234,226	
	会誌カラー印刷費	0	
年会・合同シンポより	年会・合同シンポより	4,331,001	4,331,001
行事開催収入	基礎講習会	162,100	162,100
単行本出版収入	販売収入 (ビームライン光学技術)	14,000	19,802
	販売収入 (ブルーボックス)	5,802	
	販売収入 (検出器ガイド)	0	
雑収入	Amazon アソシエイト・プログラム紹介料	4,886	183,517
	AOFSRR 協賛金関連口座より	177,993	
	その他	596	
	受取利息	42	
収入の部合計			20,298,661

2. 支出の部

科 目	細 目	金	額
学会誌出版費	会誌印刷費 (小宮山印刷工業) 別刷印刷費 (小宮山印刷工業) 会誌発送費 (小宮山印刷工業) 原稿料	2,872,223 59,127 778,643 136,000	3,845,993
単行本出版費	発送手数料 (ビームライン光学技術) 仕入れ (検出器ガイド)	0 0	0
学会奨励賞費	特注純銀メダル等		131,528
行事開催費	基礎講習会開催費 若手研究会開催費	136,543 480,339	616,882
事業費	会議費 通信費 印刷費 事務局交通費 公開市民講座開催費 AOFSRR 協賛金	1,914,660 121,340 51,251 96,997 0 1,123,300	3,307,548
管理費	事務用品費 消耗品費 給料手当 (選挙開票アルバイト) 運賃 (宅急便+メール便) 支払手数料 web サーバー維持費	0 43,601 0 18,468 178,707 39,744	280,520
ボラリス事務委託費	会員業務委託費 会計業務委託費 庶務業務委託費 ホームページ更新等 イベント関連業務 学会誌関連業務 保管料 (倉庫代) その他業務費	1,013,148 259,200 1,389,960 540,000 172,800 2,715,768 129,600 649,231	6,869,707
会計業務費	税理士顧問料		108,000
諸会費	男女共同参画協会連絡会		5,000
	新事務局移行費		0
回収不能金			93,648
支出の部合計			15,258,826

3. 収支計算の部

科 目	細 目	金	額
当期収支差額			5,039,835
前期繰越金			16,537,564
次期繰越金			21,577,399

2017年度資産負債明細

2017年9月30日現在

1. 流動資産の部

(単位 円)

科 目	細 目	金 額
1. 現金及び預金	手持現金残高	0
	東京貯金事務センター 振替貯金 0019-0-25525	28,695,480
	三菱東京 UFJ 銀行池袋支店 普通預金 5191785	8,177,312
2. 未収金	会誌販売, 他未収残高	126,532
3. 立替金	第31回年会・合同シンポ(旅費など)	617,782
4. 前払金		0
流動資産の部合計		37,617,106

2. 負債の部

科 目	細 目	金 額
1. 会費前受金	正会員会費	6,000,000
	学生会員会費	67,000
	賛助会員会費	2,200,000
	特別賛助会員会費	900,000
2. 未払金	事務局移行費, 業務関連費 (2016年10月~2017年9月分)	6,869,707
3. 預り金		3,000
負債の部合計		16,039,707

3. 剰余金の部

科 目	細 目	金 額
1. 前期繰越金		16,537,564
2. 当期収支差額		5,039,835
剰余金の部合計		21,577,399

日本放射光学会2018年度予算書
自 2017年10月1日 至 2018年9月30日

1. 収入の部

(単位 円)

科 目	細 目	金	額
会費収入	正会員会費収入	8,300,000	12,115,000
	学生会員会費収入	170,000	
	賛助会員会費収入	2,350,000	
	購読会員会費収入	345,000	
	特別賛助会員会費収入	950,000	
会誌収入	会誌広告収入	2,700,000	3,250,000
	会誌販売収入	240,000	
	別刷収入	300,000	
	会誌カラー印刷費	10,000	
年会・合同シンポより			0
行事開催収入	基礎講習会	140,000	140,000
単行本出版収入	販売収入 (ビームライン光学技術)	0	0
	販売収入 (ブルーバックス電子書籍)	0	
雑収入	Amazon アソシエイト・プログラム紹介料	0	1,000
	受取利息	1,000	
収入の部合計			15,506,000

2. 支出の部

科 目	細 目	金	額
学会誌出版費	会誌印刷費（小宮山印刷工業） 別刷印刷費（小宮山印刷工業） 会誌発送費（小宮山印刷工業） 原稿料	3,000,000 100,000 800,000 100,000	4,000,000
単行本出版費	印刷費 発送手数料	0 0	0
学会奨励賞費	特注純銀メダル等		130,000
行事開催費	基礎講習会開催費 若手研究会開催費	140,000 500,000	640,000
事業費	会議費 通信費 印刷費 事務局交通費 公開市民講座開催費 AOFSSRR 協賛金	1,800,000 250,000 100,000 100,000 0 1,100,000	3,350,000
管理費	消耗品費 給料手当（選挙開票アルバイト） 運賃（宅急便＋メール便） 支払手数料 web サーバー維持費	40,000 0 50,000 180,000 50,000	320,000
ポラリス事務委託費	会員業務委託費 会計業務委託費 庶務業務委託費 ホームページ更新等 イベント関連業務 学会誌関連業務 保管料（倉庫代） その他業務費	1,020,000 260,000 1,390,000 540,000 172,800 2,720,000 130,000 580,000	6,812,800
会計業務費	税理士顧問料		108,000
諸会費	男女共同参画協会連絡会		5,000
支出の部合計			15,365,800

3. 収支計算の部

科 目	細 目	金	額
当期収支差額			140,200
前期繰越金			21,577,399
次期繰越金			21,717,599

■日本放射光学会2018年度組織

■会長（任期：2017.10.01-2019.09.30）

小杉 信博（分子研）

■幹事（任期：2017.10.01-2019.09.30）

庶務幹事 内海 渉（量研）

行事幹事 組頭 広志（KEK）

編集幹事 籠島 靖（兵庫県立大）

渉外幹事 矢橋 牧名（JASRI）

会計幹事 稲田 康宏（立命館大）

■評議員

（任期：2016.10.01-2018.9.30）

朝倉 清高（北大）

足立 純一（KEK）

加藤 政博（分子研）

木村 滋（JASRI）

組頭 広志（KEK）

後藤 俊治（JASRI）

櫻井 吉晴（JASRI）

大門 寛（奈良先端大）

高田 昌樹（東北大）

原田 慈久（東大）

藤森 淳（東大）

藤原明比古（関学）

松田 巖（東大）

矢代 航（東北大）

渡邊 信久（名大）

（任期：2017.10.01-2019.09.30）

足立 伸一（KEK）

雨宮 健太（KEK）

有馬 孝尚（東大）

五十嵐教之（KEK）

籠島 靖（兵庫県立大）

河田 洋（KEK）

岸本 俊二（KEK）

木下 豊彦（JASRI）

木村 洋昭（JASRI）

近藤 寛（慶應義塾大）

中川 敦史（阪大）

野村 昌治（KEK）

百生 敦（東北大）

矢橋 牧名（JASRI）

横山 利彦（分子研）

■行事委員

（任期：2017.10.01-2019.09.30）

組頭 広志（KEK）委員長

東 純平（佐賀大）

伊藤 孝寛（名大）

奥部 真樹（東北大）

片山 哲夫（JASRI）

小林 正起（東大）

酒巻真粧子（KEK）

佐賀山 基（KEK）

相馬 清吾（東北大）

滝沢 優（立命館大）

長坂 将成（分子研）

真木祥千子（広大）

山田 悠介（KEK）

■編集委員

（任期：2013.10.01-2018.09.30）

富樫 格（JASRI）

中西 康次（立命館大）

（任期：2016.10.01-2019.09.30）

籠島 靖（兵庫県大）委員長

（任期：2016.10.01-2018.09.30）

阿達 正浩（KEK）

石松 直樹（広大）

出田真一郎（分子研）

大浦 正樹（理研）

田中 秀明（阪大）

松山 智至（阪大）

Harries James（量研）

（任期：2017.1.24-2018.09.30）

大橋 治彦（JASRI）

平野 馨一（KEK）

（任期：2017.10.01-2019.09.30）

大和田成起（理研）

尾原 幸治（JASRI）

北原 周（コベルコ科研）

小林 英一（SAGA-LS）

坂倉 輝俊（東北大）

関口 博史（JASRI）

高嶋 圭史（名大）

初井 宇記（理研）

松村 浩由（立命館大）

森吉千佳子（広大）

米田 安宏（原子力機構）

和達 大樹（東大）

■2018年度の主な事業計画

- **AO-SRI** キックオフミーティング
2017年10月15日 (於：日本)
- **第31回年会・放射光科学合同シンポジウム**
2018年1月8日～10日 (於：つくば国際会議場)
- **第31回総会**
2018年1月8日 (於：つくば国際会議場)
- **第22回学会奨励賞授与**
2018年1月8日 (於：つくば国際会議場)
- **第1回放射光科学賞授与**
2018年1月8日 (於：つくば国際会議場)
- **若手研究会**
- **基礎講習会**
2018年夏季開催予定
- **評議員会** (10月, 1月, 4月, 7月)
- **編集委員会** (年3回)
- **行事委員会** (年1回, 年会時)
- **学会各賞授賞選考** (奨励賞, 功労報賞, 放射光科学賞)
- **次期評議員選挙**
- **学会誌の定期発行** (年6回)
Vol. 30, No. 6/2017年11月末発行
Vol. 31, No. 1/2018年1月末発行
Vol. 31, No. 2/2018年3月末発行
Vol. 31, No. 3/2018年5月末発行
Vol. 31, No. 4/2018年7月末発行
Vol. 31, No. 5/2018年9月末発行
- **第32回年会・放射光科学合同シンポジウム**
(2019年1月/福岡国際会議場) 準備

● 会誌オンライン利用方法に関するご案内 ●

編集委員長 籠島 靖
渉外幹事 矢橋牧名

オンライン会誌にアクセスするには、放射光学会のトップページにある会員専用ボタンをクリックし、会員専用ページにアクセスする必要があります。

会員専用ページにアクセスするためのユーザー ID とパスワードは

User ID: jsr312

Password:ybkg95mN

です。このユーザー ID とパスワードは、次号が発行された後に失効します。

会員専用ページにある、学会誌「放射光」のオンライン閲覧をクリックして頂ければ、オンライン 会誌を従来通りご覧頂くことができます。

会員以外の方へのパスワード漏洩は禁止いたします。また、記事の著作権は日本放射光学会にありますので、転載等のご希望に関しては、必ず事務局までご連絡下さい。良識あるご利用で、会員の皆様のお役に立てれば幸いです。

ホームページに関して問題等ございましたら、矢橋 (yabashi@spring8.or.jp) までご連絡下さい。オンライン会誌に関するご連絡は、籠島 (kagosima@sci.u-hyogo.ac.jp) までお願いします。

■行事予定

開催月日	名 称	開 催 地	主催又は問い合わせ先	掲載巻・号
2018年 5/30-6/2	茨城大学量子線科学国際シンポジウム	茨城大学 水戸キャンパス	茨城大学大学院理工学研究科量子線科学専攻, 茨城大学フロンティア応用原子科学研究センター E-mail: takamitsu.kohzuma.qbs@vc.ibaraki.ac.jp	31・2
7/3-4	第28回電子顕微鏡大学	東京大学本郷キャンパス 理学部1号館 小柴ホール	日本顕微鏡学会 E-mail: MITOME.Masanori@nims.go.jp	31・2
7/3-5	X線分析講習会 蛍光X線分析の実際(第10回)	東京理科大学1号館 17階: 記念講堂, 大会議室	(公社)日本分析化学会 X線分析研究懇談会 E-mail: inakai@rs.kagu.tus.ac.jp	31・2
7/4	日本表面真空学会 関西支部 合同セミナー 2018「物質中を探る科学と技術—溶液や機能性材料のその場観察—」	大阪大学 豊中キャンパス 基礎工学国際棟 Σホール (シグマホール)	公益社団法人日本表面真空学会関西支部 E-mail: sv2018@ap.eng.osaka-u.ac.jp	31・2
7/8-11	第18回 SPring-8 夏の学校—最先端の放射光科学を学ぶ—	大型放射光施設 SPring-8 キャンパス	兵庫県立大学理学部/大学院物質理学研究科・生命理学研究科/産学連携・研究推進機構放射光ナノテクセンター, 関西学院大学理工学部・大学院理工学研究科, 東京大学放射光分野融合国際卓越拠点, 岡山大学大学院自然科学研究科, 大阪大学未来戦略光科学連携センター・蛋白質研究所・核物理研究センター, 高輝度光科学研究センター, 理化学研究所放射光科学総合研究センター, 日本原子力研究開発機構物質科学研究センター, 量子科学技術研究開発機構放射光科学研究センター E-mail: 2018summerschool@spring8.or.jp	31・2
7/23-24	平成30年度 J-PARC MLF 産業利用報告会	秋葉原 コンベンションホール	J-PARC MLF, (一財)総合科学研究機構 (CROSS) 中性子科学センター, 茨城県, 中性子産業利用推進協議会 http://www.j-neutron.com/0202J-PARCMLF.pdf	31・2
5/22-25	第54回真空技術基礎講習会	大阪産業技術研究所	一般社団法人日本真空学会関西支部, 日本真空工業会関西支部, 一般社団法人大阪府技術協会 E-mail: matsunaga@tri-osaka.jp	31・2

■茨城大学量子線科学国際シンポジウム

主催: 茨城大学大学院理工学研究科量子線科学専攻, 茨城大学フロンティア応用原子科学研究センター

日時: 2018年5月30日(水)~6月2日(土)

場所: 茨城大学 水戸キャンパス

登録締切: 早期登録申込 3月9日, 5月23日まで登録可能

問合せ先:

〒310-8512 茨城県水戸市文京 2-1-1

茨城大学大学院理工学研究科量子線科学専攻 高妻孝光

TEL: 029-228-8372

E-mail: takamitsu.kohzuma.qbs@vc.ibaraki.ac.jp

詳細: <https://sites.google.com/site/isqbss2018/>

■第28回電子顕微鏡大学

主催: 日本顕微鏡学会

協賛: 日本放射光学会, 他

日時: 2018年7月3日(火)~7月4日(水)

場所: 東京大学本郷キャンパス 理学部1号館 小柴ホール (東京都文京区本郷 7-3-1)

申込締切: 2018年6月15日(金)

定員：150名（定員に至った時点で締め切ります）

問合せ先：

申し込みに関するお問い合わせは 公益社団法人 日本顕微鏡学
会 電子顕微鏡大学ヘルプデスク

FAX：03-5227-8632 E-mail: jsm-denken@bunken.co.jp

講習の内容等に関するお問い合わせは 第28回電子顕微鏡大学
実行委員長

物質・材料研究機構 三留 正則

FAX：029-851-6280

E-mail: MITOME.Masanori@nims.go.jp

詳細：http://microscopy.or.jp/univ/

■X線分析講習会 蛍光 X線分析の実際（第10回）

主催：（公社）日本分析化学会 X線分析研究懇談会

協賛：日本放射光学会，他

日時：2018年7月3日（火）～7月5日（木）

場所：東京理科大学1号館17階：記念講堂，大会議室（東京都新
宿区神楽坂1-3）

参加申込締切：定員（講義100名，実習64名）になり次第
締切

申込問合せ先：

〒162-0801 東京都新宿区山吹町358-5 アカデミーセンター

X線分析講習会ヘルプデスク

FAX：03-3368-2827 E-mail: jsac-xray@bunken.co.jp

問合せ先：

〒162-8601 東京都新宿区神楽坂1-3

東京理科大学理学部応用化学科 中井 泉・阿部善也

TEL：03-5228-8266 FAX：03-5261-4631

E-mail: inakai@rs.kagu.tus.ac.jp

詳細：http://www.a-chem.eng.osaka-cu.ac.jp/xbun/

■日本表面真空学会 関西支部 合同セミナー2018

「物質中を探る科学と技術 —溶液や機能性材料のその場
観察—」

主催（予定）：公益社団法人日本表面真空学会関西支部

協賛：日本放射光学会，他

日時：2018年7月4日（水） 13：00～17：00

場所：大阪大学 豊中キャンパス 基礎工学国際棟 Σホール（シ
グマホール）

申込締切：2018年7月3日（火）（予定）

定員：180名

問合せ先：

担当幹事 内藤 賀公（〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2-1

大阪大学 工学研究科 応用物理学研究棟）

TEL：06-6879-7855 E-mail: sv2018@ap.eng.osaka-u.ac.jp

■第18回 SPring-8 夏の学校 —最先端の放射光科学を学 ぶ—

主催（予定）：兵庫県立大学理学部/大学院物質理学研究科・生命
理学研究科/産学連携・研究推進機構 放射光ナノテクセン
ター，関西学院大学理工学部・大学院理工学研究科，東京大学
放射光分野融合国際卓越拠点，岡山大学大学院自然科学研究
科，大阪大学 未来戦略光科学連携センター・蛋白質研究所・核
物理研究センター，高輝度光科学研究センター，理化学研究所
放射光科学総合研究センター，日本原子力研究開発機構 物質科
学研究センター，量子科学技術研究開発機構放射光科学研究セ
ンター

日時：2018年7月8日（日）～7月11日（水）

場所：大型放射光施設 SPring-8 キャンパス（兵庫県佐用郡佐用
町光都1-1-1）

参加費：無料（但し宿泊費・交通費等は自己負担）

申込期間：4月9日（月）10：00～5月11日（金）17：00まで（予
定）

募集定員：80名程度

問合せ先：

SPring-8 夏の学校事務局

（公財）高輝度光科学研究センター（JASRI）利用推進部 普及
情報課

TEL：0791-58-2785 FAX：0791-58-2786

E-mail: 2018summerschool@spring8.or.jp

詳細：http://www.spring8.or.jp/ja/ ⇒「学会会合」⇒「第18
回夏の学校」

■平成30年度 J-PARC MLF 産業利用報告会

主催：J-PARC MLF，（一財）総合科学研究機構（CROSS）中
性子科学センター，茨城県，中性子産業利用推進協議会

協賛：日本放射光学会，他

日時：2018年7月23日（月）～2018年7月24日（火）

場所：秋葉原コンベンションホール

詳細：http://www.j-neutron.com/0202J-PARCMLF.pdf

■第54回真空技術基礎講習会

主催：一般社団法人日本真空学会関西支部，日本真空工業会関西
支部，一般社団法人大阪府技術協会

協賛：日本放射光学会，他

日時：2018年5月22日（火）～5月25日（金）

場所：大阪産業技術研究所（大阪府和泉市あゆみ野2-7-1）

定員：60名

問合せ先：

〒594-1157 大阪府和泉市あゆみ野2-7-1

大阪産業技術研究所 本部・和泉センター内

担当 松永 TEL：0725-51-2650

E-mail: matsunaga@tri-osaka.jp

詳細：http://www.vacuum-jp.org/